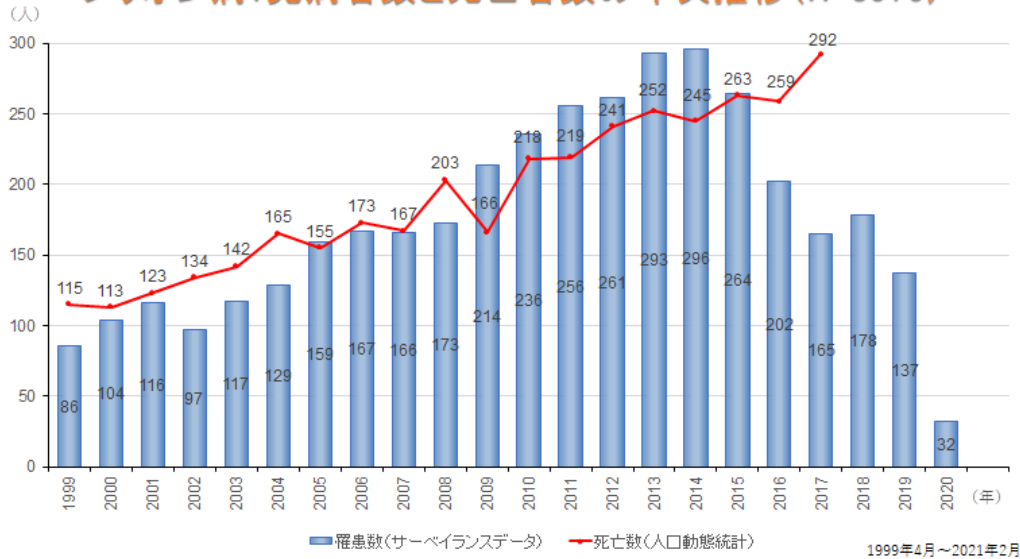


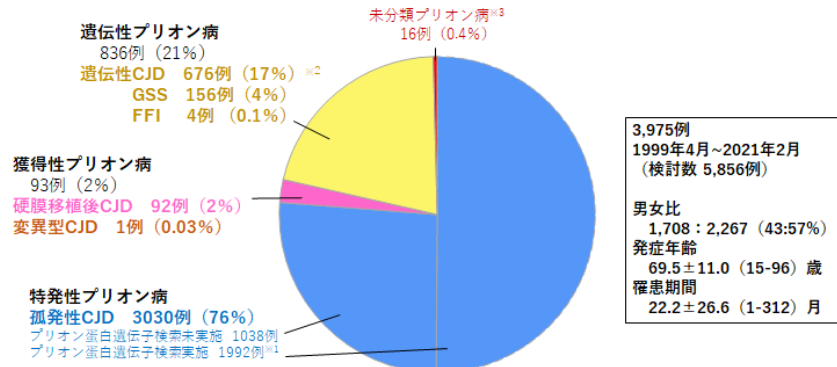
わが国のプリオン病の疫学的実態(2021年2月)

研究分担者: 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 水澤 英洋

プリオン病: 発病者数と死亡者数の年次推移 (n=3975)



プリオン病の内訳



※1 孤発性CJDと判定された症例のうちプリオン蛋白遺伝子の検査が実施されたのは1992例(66%)
 ※2 プリオン蛋白遺伝子の変異も認めないまたは遺伝子未検査だがCJDの家族歴がある症例、変異挿入例も含む。
 ※3 プリオン病は確定しているもののプリオン蛋白遺伝子検査中や硬膜移植歴の確認中等の症例

解 説

1. プリオン病サーベイランス委員会は、1999年4月1日から2021年2月5日までに5856例を検討し、3975例をプリオン病と判定した。
2. 病型別にみると孤発性CJD 3030例(76%)、遺伝性プリオン病 836例(21%)、硬膜移植後CJD 92例(2%)、変異型 1例(0.03%)であった。

※ 2015年以降、サーベイランス結果が人口動態調査数より少ないのは、調査が完了していないため